含まれない。また G.E. で現われる大形の結晶 (Fig. 5 B) も茲には現れない。かくの如く *Us. mutabilis* が日本に産することが確定したので，日本と北米東部地帯との遠隔分布を示す一例が増加した。

奥野春雄：**化石珪藻**。珪藻殻の電子顕微鏡図説 第 5 篇。Okuno, H., Fossil diatoms. (Helmcke, J. G & W. Krienger: Diatomeenschalen um Elektronenmikroskopischen Bild. **5.** 1964), Cramer, Weinheim. DM 75. 電子顕微鏡の発明は，いままで理論的な推理にすぎなかった諸種の微細構造を実際の像として示し，生物学の分野においてもその貢献は極めて顕著である。珪藻類の殻の構造もその一つであって，光学顕微鏡ではその解像力の限界であるとされていた珪藻の殻の微細な孔に，極めて複雑な構造が存在することを明かにし，この微細構造は珪藻殻の分類や系統の考察に重要な指針を与えることとなった。

このような研究は 1939 年以来多数発表されているが，著者の奥野氏(京都工芸大学)は早くからこの方面に着目した一人であって，1944 年以来，現生ならびに化石珪藻についての多数の論文がある。Helmcke & Krieger は表記の図説を企画し，1953 年以来刊行され，この方面の研究者には欠くことのできない重要な文献となった。その第 5 篇 "化石珪藻" の担当者として奥野氏が推挙され，ここにその刊行を見たことは，日本の学界のためにもまことに喜ばしい限りである。本篇に収録されたものは，北海道，本州・九州の十数県下，および北米の数ケ所から産出する珪藻土（第三紀中新世以降）から検出された 35 属 83 種で，1 新種 (*Coscinomiscus schmidti*), 3 新変種，1 新組合せがふくまれている。この図説はいずれも同体裁であるが，本篇には 13×18cm の厚手光沢印画紙に焼付けられた 101 図版と，48 頁からなる解説書が，書籍体裁のボール箱におさめられている。この直接印画をもって図版とした特異な型式は，その多くに掲げられているステレオ写真を，ステレオ用の双眼レンズ（第 1 篇に附録）で拡大観察するとき，明確な立体像を得るためにとられたもので，一面には現在のいかなる優秀な製版技術もこの目的には不適当なことを物語っている。図版にはこのほか，比較のため光学顕微鏡による全形写真，微細構造の巧妙な模型図も多数ある。 （亘 理 俊 次）

正 誤 (Errata)

頁 (Page)	行 (Line)	誤 (For)	正 (Read)
140	11	*Dryopteris*	*Doryopteris*
143	4	*Dryopteris*	*Doryopteris*
〃	Fig. 4.	*Dryopteris*	*Doryopteris*